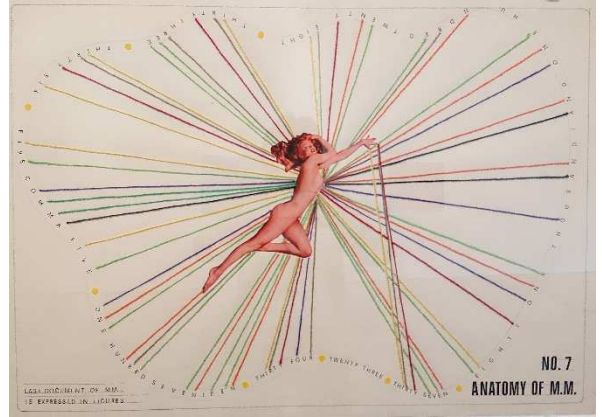
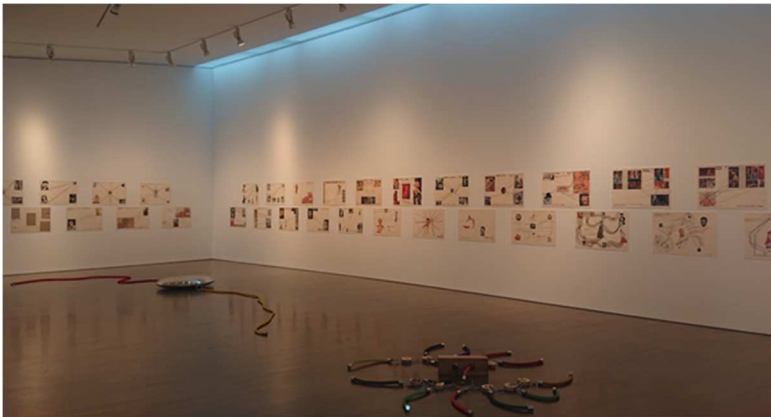


飯田善國 モンローシリーズ展

— マリリン・モンローとは誰だったのだろうか? —
2020年11月27日~2021年5月予定



ANATOMY OF M.M.シリーズより 1976年~1978年

飯田 善國 (いいだ よくに)



1923(大正12)年、栃木県足利市生まれ。慶應大学高等部から学徒出陣し中国大陸へ。戦後は同大学に復学し西脇順三郎(詩人・英文学者)に師事。卒業後の1948(昭和23)年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。大学卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。

1956(昭和31)年、小説家 野上彌生子との縁でローマに留学しファッツォーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。その後ウィーンに移り1959(昭和34)年に抽象裸婦連作を描くと、本格的に彫刻に転じ、ウィーンやベルリンを拠点に活躍。1967(昭和42)年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属とロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で国内外に広く知られる他、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。1997(平成9)年7月、日本経済新聞「私の履歴書」連載。『ピカソ』(岩波書店 2000年[1983年の再刊])等、著作も多い。2006(平成18)年逝去。[享年82歳]

TRIAD IIDA-KAN

2002(平成14)年、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの敷地内に飯田作品を集めたIIDA-KANをオープン。
2018(平成30)年より運営組織を公益財団法人ハーモニック伊藤財団に変更。同年、同敷地内にある楨文彦氏設計の3棟の建築群「TRIAD」とあわせ長野県から博物館法の登録を受ける。

モンローシリーズ

飯田がマリリン・モンロー(1926-1962)について深く考えるようになったのは、彼女の死がきっかけでした。マリリンのあどけなく計算された、無垢で色気のある演技。その裏側には彼女の生い立ちによる深い孤独感があり、さらには一人の人間として愛を求め続ける素顔のノーマ・ジーンがいました。

1970年代 飯田はコラージュ作品『ANATOMY OF M.M. (M.M.の解剖)』シリーズを密かに制作し続け、マリリンを様々な角度から分析・解剖し、彼女の本質を探ろうとしました。

2020年11月



- 開館時間：午前10時~午後4時・無休(臨時休館有)
- 交通：[電車]JR 大糸線穂高駅から「株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ」を目的地に タクシーで15分
[車]長野自動車道安曇野インターより20分
- お問い合わせ：〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧1856-1
公益財団法人ハーモニック伊藤財団 TRIAD IIDA-KAN
TEL 0263-83-6800(代)
<https://www.harmonicito-f.or.jp/>



公益財団法人 ハーモニック伊藤財団

TRIAD IIDA-KAN

AZUMINO ART LINE
安曇野アートライン
当美術館は安曇野アートラインに参加しています